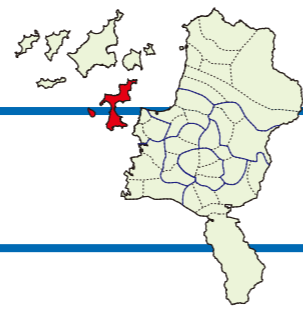


ご ご しま
興居島地区

面積：8.74km²
人口：1,187人（高齢化率 62.3%）
世帯数：668 世帯

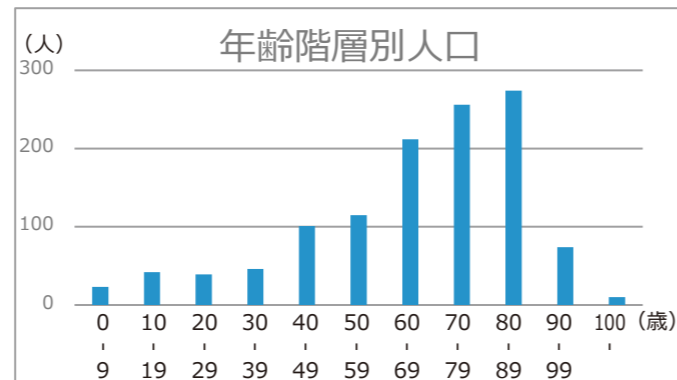


【地区の特色】

瀬戸内特有の温暖な気候、人情味溢れる住民、おいしい果物・魚介類など自然にめぐまれた地域である。最近には特に高齢化・少子化が進んでいる。大変歴史が古い地域で縄文式土器も出土されており、平安時代には無形文化財に指定されている「船踊り」も活発であったと記されている。また、神社、仏閣等、非常に古い時代に建立されており歴史の古さを物語っている。



無形文化財「船踊り」



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の団結が強い ・住民間でのつきあいがある ・治安がいい ・人が優しい、温かい ・子ども達からのあいさつが活発 ・海の幸、山の幸がある ・みかんがおいしい ・自然が多い ・釣り人が来る ・お試し移住施設（ハイムインゼルごごしま）がある
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪い ・食堂がない ・コミュニティの場がない ・獣害（いのしし） ・空き家が多い ・農業をする若い世帯は通いで来ている（親と同居せずに住める住居があれば移住したい） ・ふれあいタクシーの運転手が少ない（現在、車7台・運転手9名）
地域が抱える福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のみの世帯、高齢者の独居世帯が多い ・身寄りが無い人が多くなった ・足腰が弱るとゴミ捨てや畑のある山に行けない ・子ども、若者が少ない ・公共の交通機関がない ・買い物や通院が不便 ・島外への病院（専門科）へ行きづらい ・コミュニティの場がない ・災害発生時の避難補助が必要 ・介護保険で利用できる事業所が少ない

興居島地区社会福祉協議会

思いやり 心で結ぶ ごご島の里

構成団体	地区民協・公民館・町内会・各町連絡会	
主な取り組み	活動内容	
福祉学習の推進	小・中学校と連携し、高齢者サロンと子どもの交流や清掃活動など福祉学習の推進をしています。	
各種団体への支援	島内で活動している様々な団体へ助成し、活動の支援を行っています。	
心配ごと相談	地区民協と連携して島内の高齢者宅を訪問し、生活上の心配ごとを聞いて、必要であれば地域包括支援センターに繋ぐなどの活動を行っています。	

ふれあいタクシー（過疎地有償運送事業）

島内には公共の交通機関がなく、移動手段のない住民を地域住民の手で支えるため福祉施設と連携して平成 27 年から「ふれあいタクシー」の運行を開始しました。現在、車 7 台、運転手 9 名で運行しており、買い物や通院などに年間延べ約 1,240 名の利用があります。



<地区社協が目指すもの>

現在、島内で運行する「ふれあいタクシー」について、5 年先を考えるとボランティア運転手の確保や利用会員の減少など課題があります。興居島地区にもまちづくり協議会が発足し、地区社協も役員として参画しているため、部会や他団体と連携し、興居島の島民のためにどうすればよいか話し合い、島民同士助け合いながら安心して暮らせる町づくりを目指していきたくて考えています。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	12 名 2 名	■町内会・自治会・区長会等	9 団体
	■まち協の設立	平成 29 年度	■高齢クラブ ■子ども会 ■自主防災組織	7 クラブ 1 団体 9 組織

離島により人口の減少が進むなかで、市街地では難しい日常的なつながりが世代間等関係なく形成されているお互いに顔のみえる関係が特徴です。島で暮らしていくためには住民同士助け合っていかなければならないという思いから、地区社協・地区民協が発起人となり、島内の福祉施設が主体となった「ふれあいタクシー（過疎地有償運送事業）」の運行を始め、地区社協として継続的な運営支援を行っています。高齢者サロンを高齢者のみの場とするのではなく、学校との連携による世代間交流や福祉教育の場としていたり、高齢者宅訪問も実際に福祉サービスにつなげているなど、一事業に複数の効果を持たせている活動は他地区の参考にもなっています。



地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区
	中島地区

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区
	立岩地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区
久谷地区	

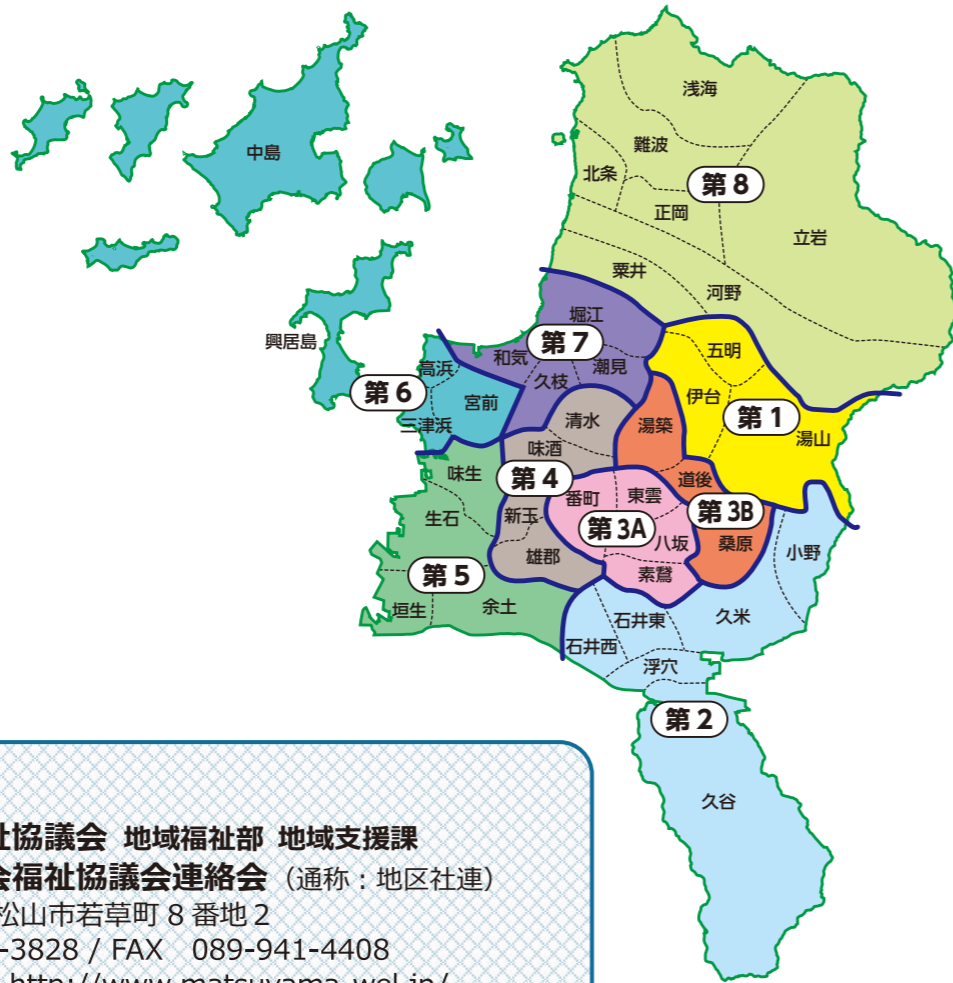
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地地区
	生石地区
	味生地地区



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称: 地区社連)
〒790-0808 松山市若草町8番地2
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

<『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在)
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在)

⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏